

# かぬま文化

No.167

発行人 鹿沼市文化協会  
発行責任者 会長 山菅 昭八  
編集委員会 委員長 鈴木 貢  
印刷所 晃南印刷株

## 4名の栄えある受章を祝して

令和2年新年会報告

令和2年1月18日、福田屋コンベンションホールは、新年を迎えた喜びとともに受賞者4名をお祝いする慶びであふれました。

恒例となった文化協会の新年会は、昨年を上回る4名の栄えある受賞者の祝賀会を兼ねて開催され、総勢79名もの参加者が集う盛大な祝宴となりました。

今年の受章者は、勲章を受けた福井辰次参与、鈴木貢副会長、山菅昭八会長の3名に、大臣表彰を受けた大塚益美理事の4名となり文化協会の存在感を大いに示していただきました。

福井参与においては、商工会議所の会頭を務めるなど地域の産業振興に多大な



園の保護や利用に顕著な功績があったとして「環境大臣表彰」がそれぞれ授与されたことによるもので、当協会にとっても非常に誇らしく参加者全員で喜びを分かち合いました。

会は、小林一行副会長の開会で幕を開け、山菅会長の主催者挨拶のあと、司会者より受賞者の表彰披露がされ、記念品と花束の贈呈がされました。



受賞者4名を代表して、福井参与から今回の栄誉の喜びと今後の活躍を誓う謝辞が述べられると、会場は大きな拍手に包まれました。

続いて来賓の佐藤信市長、増渕靖弘議長、小林幹夫県議、そして昨年の受章者、木村剛考商工会議所会頭からもそれぞれに受章を讃える言葉と新年を祝う挨拶を頂きました。

時間の都合で祝辞を頂けなかった松井正一県議、福

### 目次

茶道宗偏流青木教室……2  
茶道裏千家阿部宗起教室……2  
昇玉流鹿沼支部……3  
祝宴のアトラクションでは、民謡民舞連合会の皆さんによる歌と踊りと演奏が披露され、華やかな新年会となりました。

田義一副市長、高橋臣一教育長、館野裕昭、阿部秀実、藤田義昭の各市議、西山義信、中島要三、福田康行、橋本美代子各参与の来賓紹介に続き、西山参与の受賞者を讃える温かい挨拶とともに声高らかな乾杯で祝宴に移りました。

今年は栃木県芸術祭の「短歌部門」で文芸賞を受賞した山西えり子さんと「洋画部門」で芸術祭賞を受賞した伊藤好昭さんの二人を招待して、その作品ともども紹介し、榮譽を讃えさせていただきました。

最後は、これも恒例となった「青い山脈」を全員で合唱して、鹿沼市文化協会の結束を全員で確認し、高橋進副会長の閉会のことばで、文化協会新年会は盛会のうちに閉会となりました。

(事務局 外山拓也)





## 喜・怒・愛・楽

鹿沼市茶華道協会 茶道宗偏流青木教室 代表 青木 宗栄

一週間後に、大型台風19号が、日本列島で大暴れ、記録的な大雨や暴風は、各地に甚大な被害、県内はもちろん、鹿沼市も今も悲惨な爪痕が残されています。

第73回栃木県芸術祭茶華道展が令和元年10月5日、6日に11年ぶりに鹿沼市民文化センターで開催することができました。県や市関係者の御協力、御支援、御指導を頂き、各市町村の多くのお客様を、無事お迎えする



ことができました。



茶道部会は、一週間後の秋祭り茶会を中央公園にて12日、13日、今宮神社境内の13日の、呈茶席にと準備を進めていた矢先：大型台風情報に秋祭り中止となる情報、当然茶会も中止。県芸術祭の準備に各市町村との連絡や当日の運営等に追われ、祭りに向けての心の



切り替えの忙しかつたなかで、台風の被害にあわれた、県芸術祭のお客様や、各関係の方々に思いを馳せながら、礼状を書きました。

日光市、上三川町、宇都宮市、鹿沼市の4つの茶席、華やかな華展会場を満喫され、一階出入口に作られた、鹿沼市を紹介するビデオや物産協会による鹿沼名産の展示コーナーも好評でした。華やかに、楽しい時間

をすごされていたことが、信じられない程の惨状は、日々穏やかに、平和な時間を当たり前にすごし突然何が起きて一変するか、予測以上が多い昨今、歩んで来た時間より、これからの短い時間を大切に、ご縁を大切に、茶席への多くの皆様のお出ましを、心よりお待ちしております。申しあげます。



## 栃木県芸術祭茶会

茶道裏千家阿部宗起教室 阿部 宗起

第73回栃木県芸術祭茶会が10月6日、鹿沼市民文化センターに於いて、開催されました。

今回の茶会では大日本茶道学会二席、宗偏流一席、そして裏千家一席、合わせて四席が設けられました。それぞれが趣向を凝らし、心を込めて席の準備をしました。







当日はあいにくの雨でしたが、鹿沼市長様をはじめ、大勢のお客様にお越しいただき、皆様とご

一緒大変楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。お客様や関係の方々に感謝申し上げます。これからも精進していこうとあらためて思いました。ありがとうございました。

お筆の富士画賛「瑞雲」を掛けさせていただき、香合は秋の風情で柿香合「蜘蛛の巣」を飾り、花入れは備前焼「砧」に秋明菊、段菊、キジヨウロウホトトギスを生け、御園棚には下間庄兵衛の肩轂裏形釜をかけ、水指は少し明るさを出すために秋草の絵の沈寿官を使用し、主茶碗には青子造りの赤楽を用意しました。



## 栃木県芸術祭

栃木県芸術祭華道実行委員 昇玉流鹿沼支部支部長 橋本 勝雲

令和元年度「第73回栃木県芸術祭」華道、茶会が、10月5・6日、鹿沼

市民文化センター、1階多目的ギャラリーに於いて開催されました。

栃木県、各市、町、17

流派総人数88人、鹿沼市華道部、小原、草月、龍生、昇玉、宝生、5流派18人の方々に出品していただき、大勢の見学者が訪れ賑わいました。

鹿沼市での開催は、20数年振りとなり、市華道部会員が、一丸となり会場を設定し、生け込み、

搬入、搬出、揚げ花が滞り無く進行するよう、「おもてなし」の心で、開催期間を見守りました。

伝統生花を基本とし現代に至るまで、誠心誠意、花材と会話しながら、各自、見応えのある作品を完成させました。

鹿沼市文化協会のみならず、大変お世話になりました。ありがとうございました。

後の、県芸術祭反省会

では、お褒めの言葉をいただき、会員一同安堵しております。





## 第44回栃木県文化振興大会 「多彩な演目に感激！」

寒中とは思えない暖かな日差しに包まれた1月30日、第44回栃木県文化振興大会が、県内各地から多くの文化活動に携わる関係者約千人を集めて、盛大に開催されました。

今年、県央の宇都宮地区が担当となっており、会場となった宇都宮市文化会館大ホールは、多くの観客が詰めかけました。

鹿沼からは、20名の会員で参加してきましたが、こんなにも志しを同じくする人たちがいると思うと感動もひとしおです。

大会では、栃木県知事（代理）や栃木県文化協会会長のあいさつの後、文化選奨と文化奨励賞に選出されたお二方の表彰が行われました。

今年度は、多年にわたり顕著な業績をあげた方に贈られる文化選

奨に写真部門から大義雄氏（85歳）が、今後の活躍が期待される方を対象に贈られる文化奨励賞には洋画部門の株田昌彦氏（47歳）が選出されました。

式典後のアトラクションには、宇都宮市文化協会からジャズ演



奏と民謡民舞、洋舞が、上三川町文化協会からはソシアルダンスが、そして河内文化協会からは民謡が披露され、観客を楽しませてくれました。

どの出し物も各協会の会員の方々の日ごろの修練の成果が表れた見ごたえ、聞きごたえのある発表となりました。

特に宇都宮市洋舞部の会の総勢42名による創

造性豊かなバレエ&ダンスの上演は、華やかでかつ美しく、観る者を圧倒しました。

ホール1階のロビーでは、昨年鹿沼市で行われた栃木県芸術祭に参加された宇都宮市茶華道協会の皆さんによる呈茶席が設けられ、参加者全員でおいしいお茶を楽しませていただきました。

（事務局 外山拓也）



### 編集後記

例年になく暖冬のなか、穏やかなお三が日となりました。この一年の日々が「日常」として、つつがなく暮らしていきけるよう願うばかりです。

令和になり、初めての新年を迎え、鹿沼市文化協会の恒例になっております、受章祝賀会並びに、新年会が盛大に開催されました。

受章なされた方々は、いずれも鹿沼市の文化を創り、育み、支え、永年ご尽力をいただいて参りました鹿沼文化史の礎となる、つわものばかりです。これからも、

鹿沼の文化が未来へと受け継がれ、心豊かな街がりとなって花開き、益々発展して行かれることを願っております。

（編集委員 寺崎 昌子）

### ◇編集委員会◇

鈴木 貢 小林 守  
板橋 和子 若月 里子  
黒川 榮三 寺崎 昌子

### 告知板

令和2年度

鹿沼市文化協会

通常総会

■期日

令和2年

5月16日（土）

■場所

鹿沼市民文化センター

大会議室

◆問い合わせ

☎（0289）

7814308